

2023年3月20日

株式会社 誠和アグリカルチャ 

## ペンタキープの(株)誠和アグリカルチャが全国主要販売店を集めて情報交流会議を開催 減肥 30%を実現するための光合成能力の向上と根の健全性を発揮する資材情報を発信

弊社株式会社誠和アグリカルチャ（栃木県下野市、代表取締役/大出祐造）は、3月16-17日の二日間に川崎日航ホテル（神奈川県川崎市）において「第1回販売戦略会議」を開催しました。全国の主要なペンタキープ販売代理店24社、BS的資材の新商材メーカー6社が参加しました。

弊社の5-アミノレブリン酸配合液肥の「ペンタキープ」の優れた使用事例（キャベツ、ニンジン等の園芸作物、桃やミカン等の果樹、カンショや大豆などの畑作、米や麦などの穀類）を各社より発表いただき、光合成細菌培養キット「くまレッド」による水田作物（水稻、レンコン）の増収効果を示す事例を製造元の株式会社 Ciamo（熊本市、代表取締役/古賀碧）から紹介いただきました。

（別添、開催会場の写真）

本会議は、現在、注目されているバイオスティミュラント的資材を効果的に使用することで、みどり戦略の2050年の化学肥料30%減目標は、農業資材業界の新たなビジネスチャンスと考える弊社の想いを共有するために開催されました。植物の光合成能力を向上させる「ペンタキープ」、健全な根圏環境を保ちスムーズな吸肥力を維持する「くまレッド」の弊社の主力2商品では参加各社による優れた事例発表が行われ、ブドウ果皮の生理障害を軽減させる「イオニック・リキッド」、ほぼ100%吸収ができる海洋ミネラル「ミネラルリッチ液」など上市前の新商材では各メーカーから事例ワークの募集などが行われました。

新型コロナウイルスの影響などで開催は7年ぶりとなったペンタキープ販売代理店による事例交換会議でしたが、参加者より「とても有意義な事例情報を集めることができ、減肥対応と手取り維持に悩む農家に有益な情報を直ぐにでも提案できそう。」とたいへん好評をいただきました。

弊社は日本だけでなく欧州やアジア諸国においても、取扱うBS的資材の事例ワークに努め、作物への効果を明らかにし、農家がそれらの資材を解り易く、かつ使い易くなる情報ツールを整える事で営農力の向上に貢献していく取り組みを積極的に進めていきます。

【問合せ先】 事例ワークを行う新資材（現定数）の問合せ先

株式会社誠和アグリカルチャ <https://pentakeep.seiwa-ltd.jp/contact/>  
栃木県下野市柴262-10 TEL0285-50-2030 Fax0285-44-5271

この記事に関する問合せ先

担当：原和久 hara.kazuhisa@seiwa-ltd.co.jp